

## 美濃市古城山環境保全モデル林活用イベントを開催しました

12月25日（日）、美濃市吉川町にある古城山環境保全モデル林（ふれあいの森）で、古城山環境保全モデル林連絡協議会主催による「炭焼き体験」が開催され、美濃市在住の16名（うち子供6名）が参加していただきました。この日の作業は、実際に炭を作るにはどのようなことが必要なのかを知っていただくため、森林内で木を伐採し（今回の作業では主催者側で実施し、参加者は見学）、森林内から伐採した木を道まで運搬、軽トラックに乗せ、窯の近くで適当な太さに割り、窯（今回はスミヤケールという簡易な炭焼き窯）に入る長さに切った材料を並べて、火入れまでを体験しました。

参加者は、土や粘土などを使って作る従来の炭焼き窯を想像して臨まれた参加者も多く、こんな方法で炭ができるのかと興味深く説明を聞いていました。

また、炭の完成まで延べ30時間ほど要した説明を聞き、炭作製の大変さを実感していました。（協議会として初めてスミヤケールを購入して、試行錯誤しながらの製作であったことや生木（水分量が多い状態）からの作製であったこと、1日では完成しなかったため日にちを変え、3日に分けて活動したため時間がかかってしまったことなどが原因かと思われまます。完成まで通して行えれば、もう少し短縮できます。）

前日の積雪により足場が悪い中の活動となりました。

今回は、火入れを行うところまででしたが、実際これからが長丁場の「窯」への火の管理になります。炭の完成までとはなりませんでしたが、炭完成までの時間を聞き、炭づくりの大変さを解っていただけた活動になりました。



【炭焼き材料の運び出し・積み込み体験】



【薪割り体験】



【スミヤケールで製作した炭】



【食事風景】